

休眠預金の危険な冒険

～ロマンを忘れぬ者たちに、リスク資金を～



東京経済大学 経済学部
向山輝
紫芝拓哉
庄野友惟
渡部雄

眠れる獅子？休眠口座

約800億円/年



目次

- 1、日本の休眠口座の現状
- 2、私たちから見た休眠口座
- 3、起業ベンチャー ～ロマンあふれるリスク資金投資～
- 4、私たちの提案
- 5、まとめ

1. 日本のお眠り口座の現状

休眠口座とは



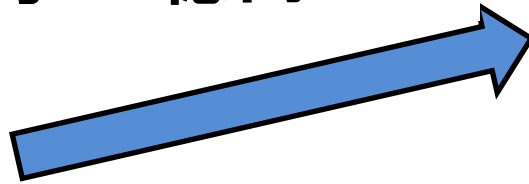
- ・一定の期間に取引がされていない口座
 - ……期間は通例として5年ないし10年とされる
- ・発生原因
 - ……小さい頃親が作ってくれていた口座を忘れていた
口座所有者が口座を残したまま亡くなってしまった

休眠口座の内訳



約800億円発生

約500億円



約300億円



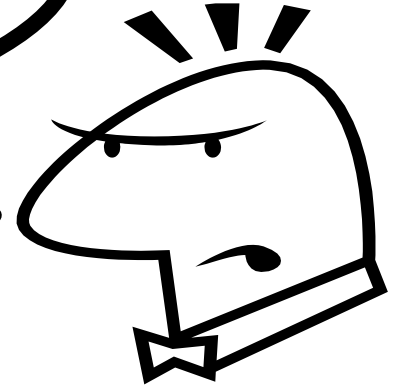
銀行の利益などとして計上



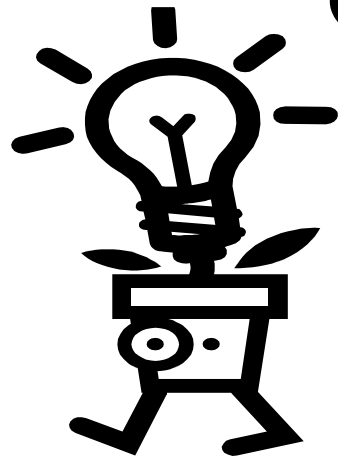
家庭などに払い戻し

1. 日本の休眠口座の現状

これでは銀行がほとんどもらっているではないか！！！！
ずるいぞ！！！！



何か有効な使い方はないのかな？



イギリス休眠口座活用案



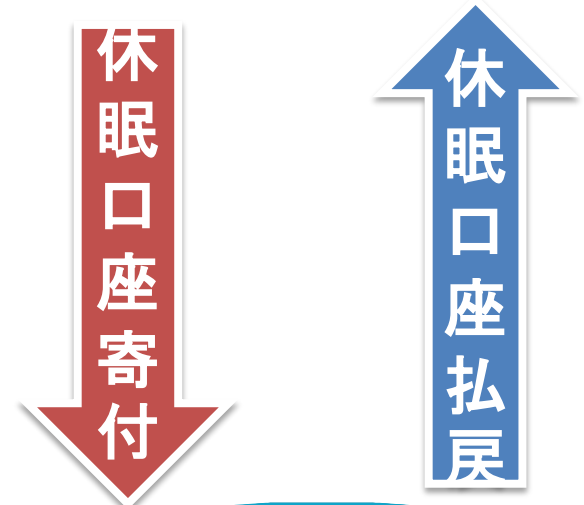
預金者



ビッグソサエティキャピタル

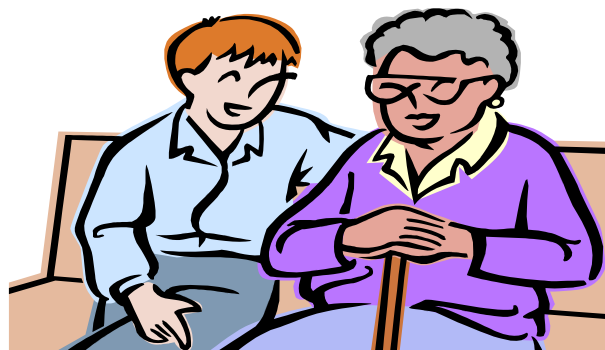


ビッグロッドリーファンド



リクレイムファンド

韓国休眠口座活用案



金融口座検索システム

休眠口座払い戻し

寄付



休眠口座寄付

休眠口座払い戻し



微笑中央金融財団

1. 日本の休職口座の現状



「国が所有し、福祉に」

休職預金を誰かがもらう
のはずるい!!!

公平性の重視

2. 私たちから見た休眠口座

休眠口座活用議論の背景

その答えは、「**休眠**」という言葉がもたらすイメージにある

なぜ**公平性**が重視されるのか？



休眠口座からは
「**眠ったまま**」、「**浮いてしまったお金**」
というイメージが連想される

2. 私たちから見た休眠口座

休眠口座の
「眠ったまま」、「浮いてしまったお金」
というイメージ

眠っているなら活用しよう！

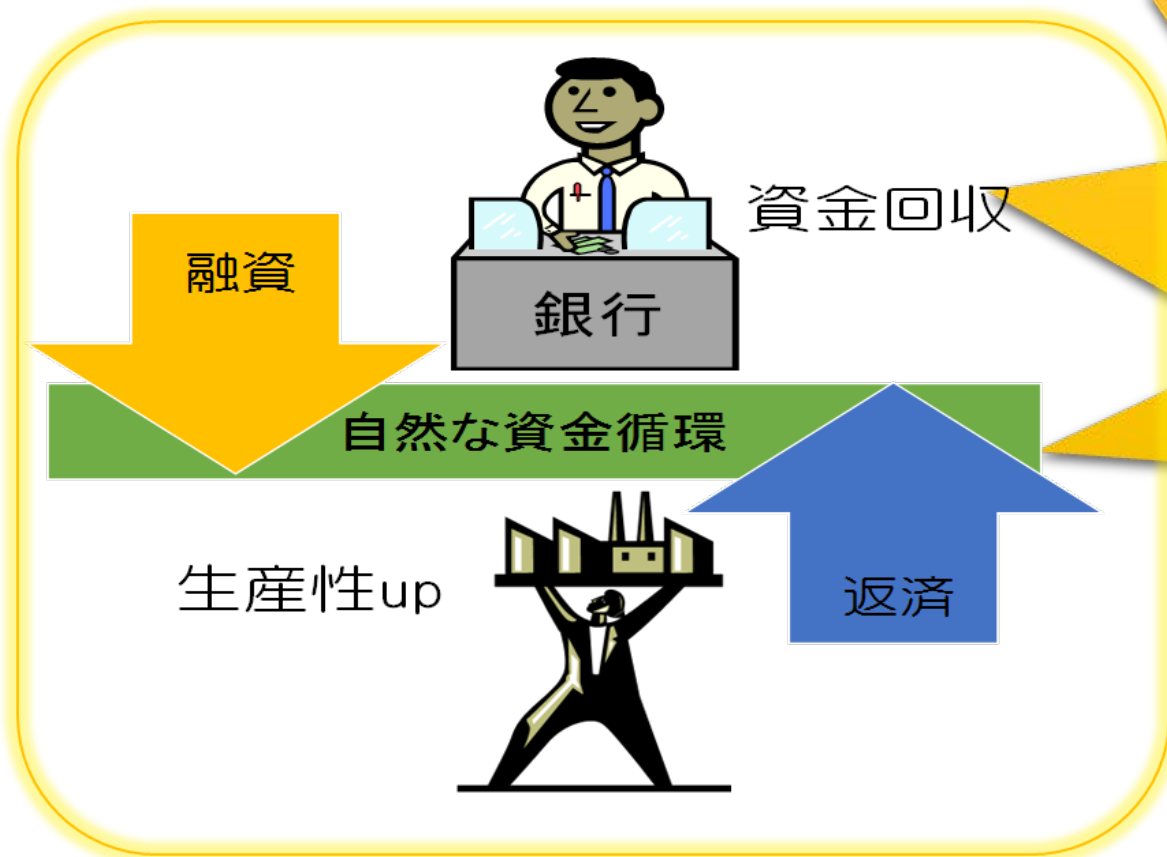
浮いてしまったお金なら平等に使おう！

福祉

私たちから見た休眠口座

視点1: 休眠口座は起きてます！

休眠預金は眠ってなんかいなかった！

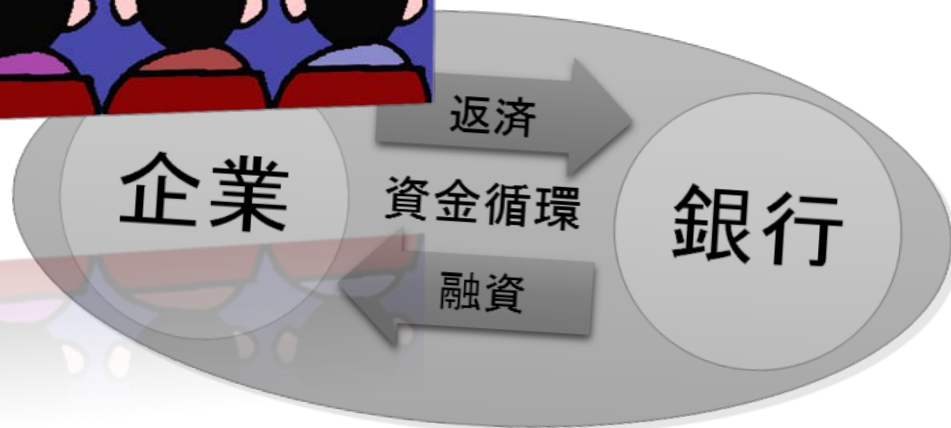


休眠預金は、市場活性化に必要な
金融的資金循環の役割を果たしていた！

2. 私たちから見た休眠口座



公平性を重視し、資金を福祉に流すことは、
《金融的資金循環の縮小という機会費用の発生》
の落とし穴が潜んでいる



私たちから見た休眠口座

視点2: 浮いたなら大胆に使うべし

休眠預金の半分は、受け手がいない

受け手のいない資金を投資に使った場合

損失が出ても、それに対する抵抗が少ない

休眠預金はリスク許容度が高い資金である！

二つの視点のまとめ

視点1より、休眠預金は
金融的資金循環に使ったほうがいい！



視点2より、**リスクが高い投資**に使うべき！



2. 私たちから見た休眠口座

では、有効なリスク投資には、
どんなものがありますか？



そもそも、日本の社会保障費は100兆円以上！
800億円という休眠預金を
福祉の財源とするには心もとない



リスクの高い投資とは？

3. 起業・ベンチャー ～ロマンあふれるリスク資金投資～

リスク投資の代表例

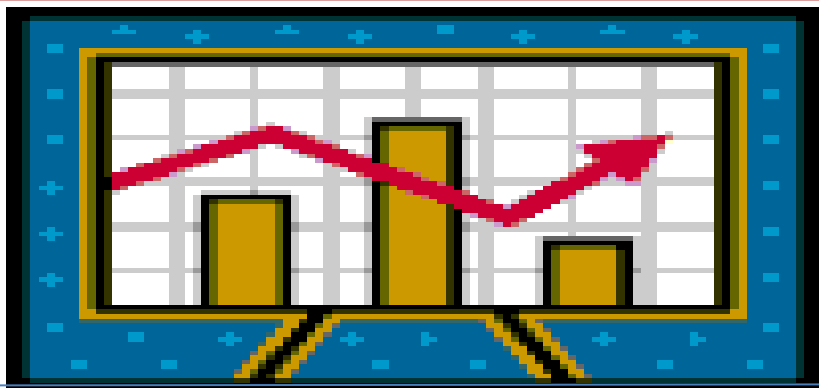


起業家

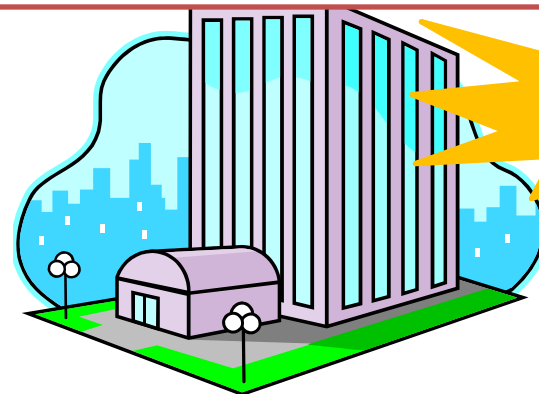


ベンチャー企業

日本経済の活性化と底上げ



民間企業



必要

現在



既存大企業

低迷中

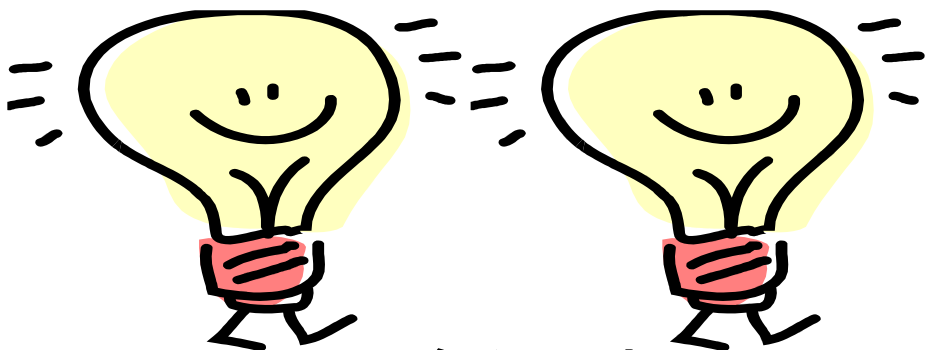
急成長



ベンチャー企業

3. 起業・ベンチャー
～ロマンあふれるリスク資金投資～

～な商品作れば大ヒット
間違いなし！！



独創的発想

しかし、**起業、財務、経営管理**の手腕は
おぼつかない

そのため

可能性とロマンはあるが...
起業成功は難しい！！

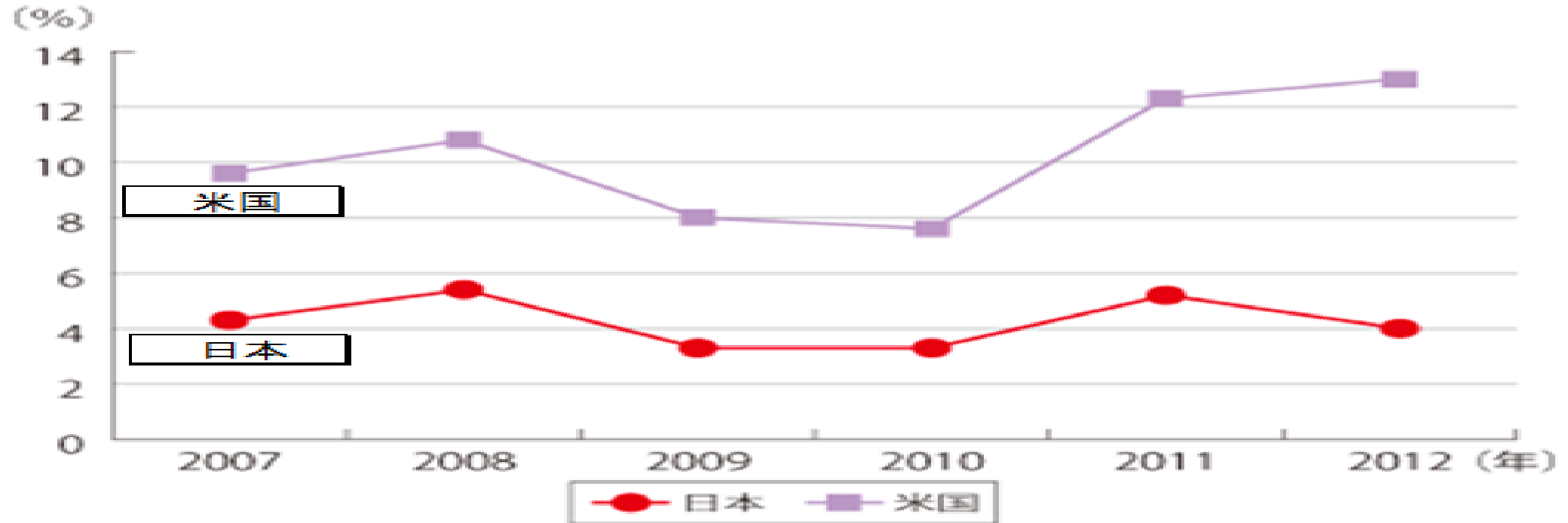
リスク高

起業時

投資



日米における人口に占める起業家の割合



(出典) 総務省「ICT産業のグローバル化戦略等に関する調査研究」(平成25年)
Global Entrepreneurship Monitor

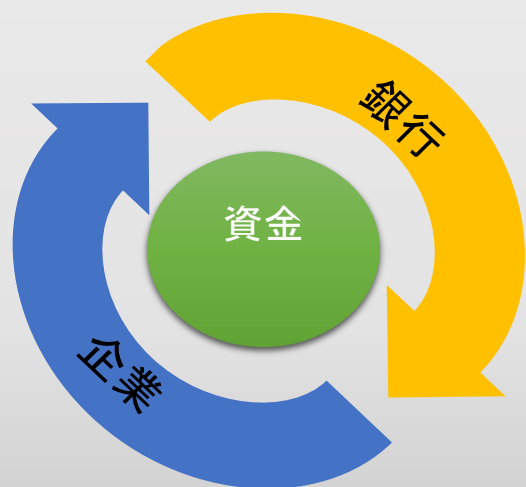
実際に日本の起業家は少ない！！

4. 私たちの提案

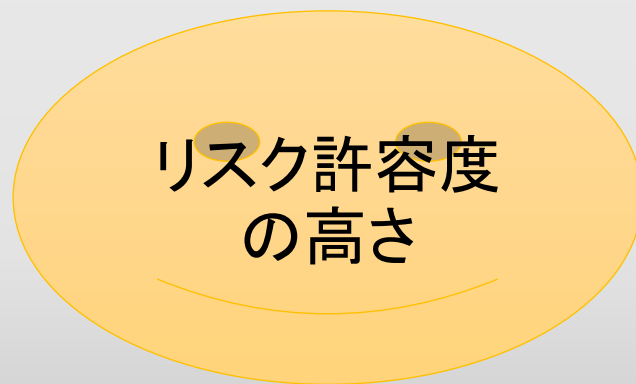
休眠口座活用には

先の二つの視点を踏まえると...

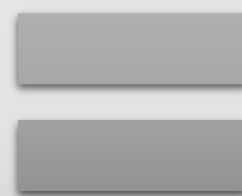
休眠預金が果たすべき役割を全うでき且つ、リスク許容度の高さを生かせるような活用法を考えるべき



視点1



視点2



休眠VCによる大胆な投資

休眠口座活用ファンドの全体図



休眠ベンチャーキャピタル

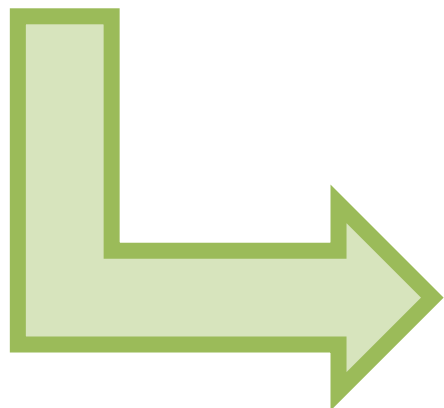
400億円を元手に

大胆且つ大規模な出資の実現

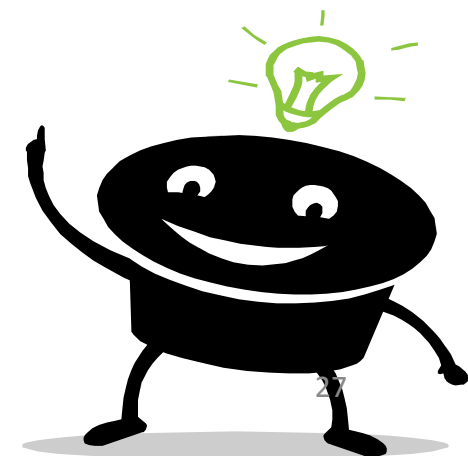
優秀なキャピタリストの採用



出資金

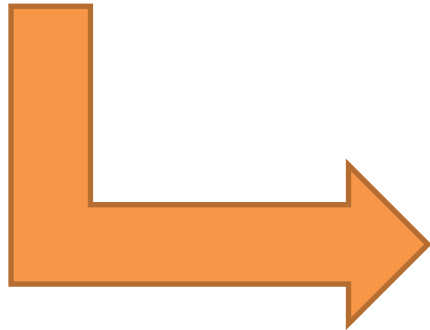


- ①ベンチャー企業
- ②若手の起業家
- ③脱サラ起業家
- ④退職後の起業家



休眠VCの強み

- ・キャピタリストの大胆な出資が可能
⇒リスク許容度の高い資金を使うため
- ・事業が失敗しても
⇒リスク許容度の高さから損失の抵抗が少ない



400億円の原資を持つ
休眠VC



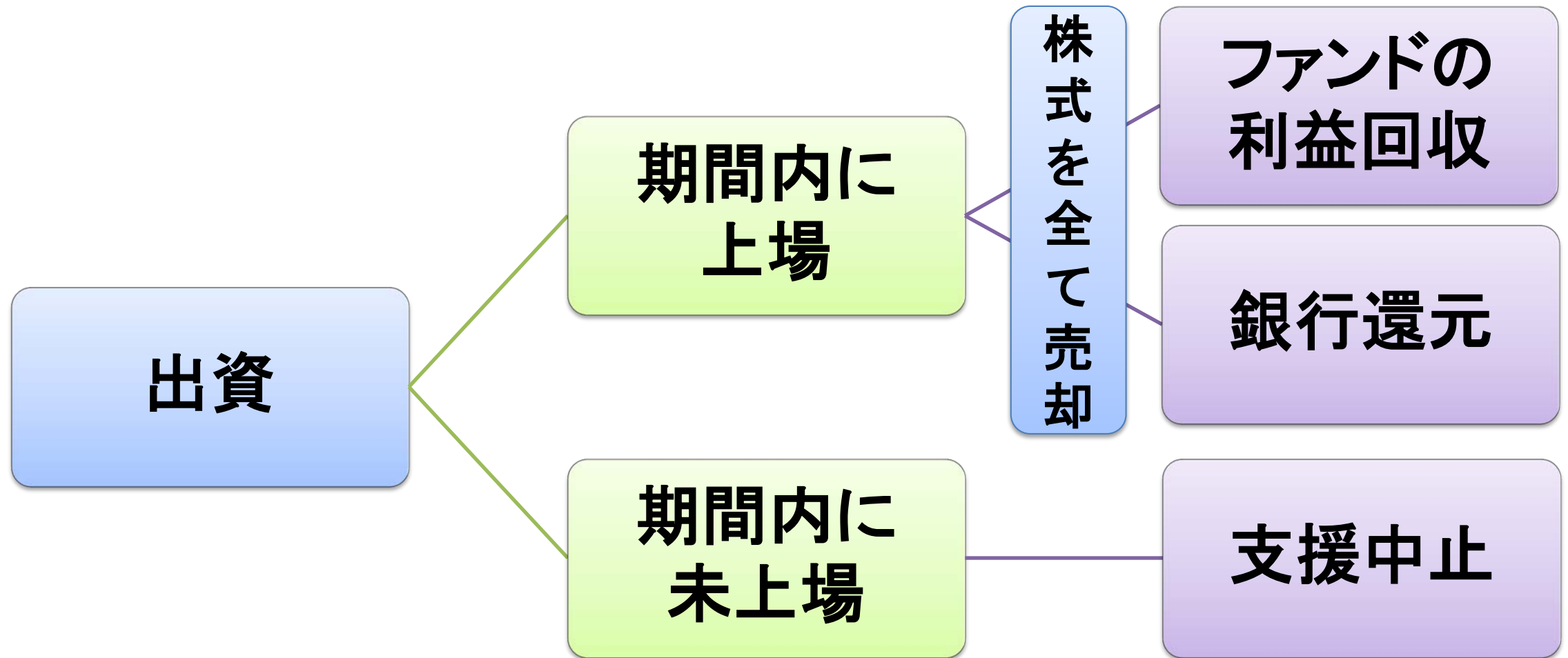
キャピタリストの優秀な人材募集

職種名	ベンチャーキャピタリスト
仕事内容	休眠口座、400億円を原資とした、未だかつてないベンチャーキャピタルファンドで起業支援を行いキャピタリストたちの手で企業を上場させる。 資金や経営面でのサポートを充実させ、ベンチャー企業の事業成功を目指す。
雇用形態	正社員
給与	~~~~万円
応募資格	<p style="text-align: center;">以下のいずれかの要件を満たす方</p> <ul style="list-style-type: none">・コンサルティング会社、金融機関、監査法人の実務経験者・起業経験のある者・事業法人で経営企画などの経験のある者

起業タイプごとの支援期間と支援規模

出資先の起業家	利点	欠点	支援内容
若年層	<ul style="list-style-type: none">・アイデアが豊富・未来がある	<ul style="list-style-type: none">・社会経験が少ない・経営管理に不安	<ul style="list-style-type: none">・小規模で長期支援
中年層	<ul style="list-style-type: none">・現実的発想力がある・社会の最先端を知っている	<ul style="list-style-type: none">・起業の失敗を恐れる	<ul style="list-style-type: none">・比較的大規模な長期支援
高齢層	<ul style="list-style-type: none">・社会経験が豊富・人脈が豊富	<ul style="list-style-type: none">・後継者問題・採算が取れない	<ul style="list-style-type: none">・小規模で短期支援

ファンドの出資から利益回収までの流れの一例



休眠口座活用ファンドの全体図



返還請求への対応

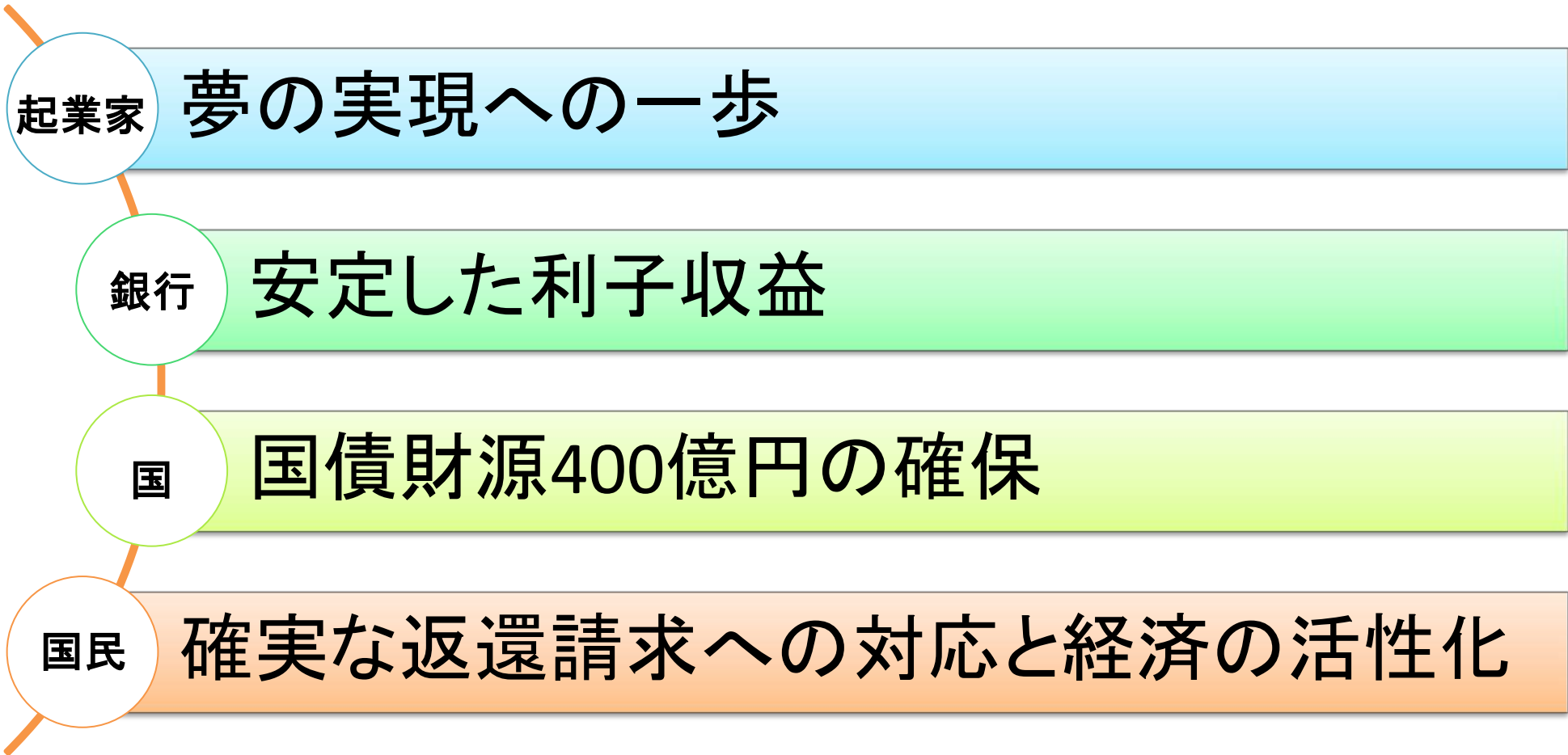
休眠預金は、預金者からの返還請求（年間約300億円ほど）がある
⇒返還請求に応えるため残りの400億円は、安全に資産運用する



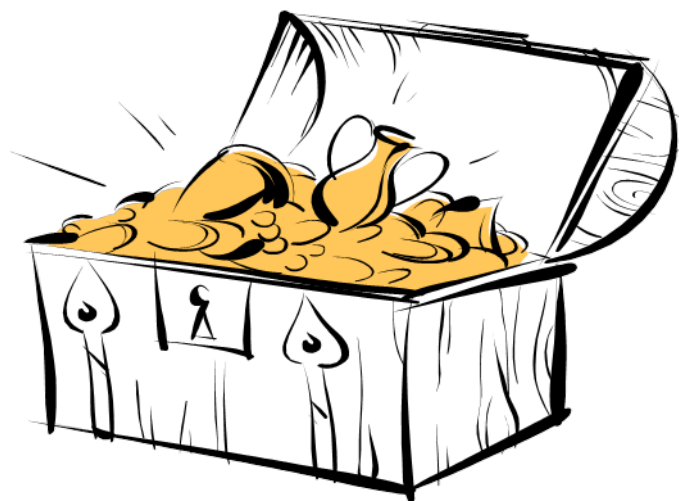
5.まとめ

私たちの提案する 休眠口座活用ファンド×休眠VC

W
I
N
×
4



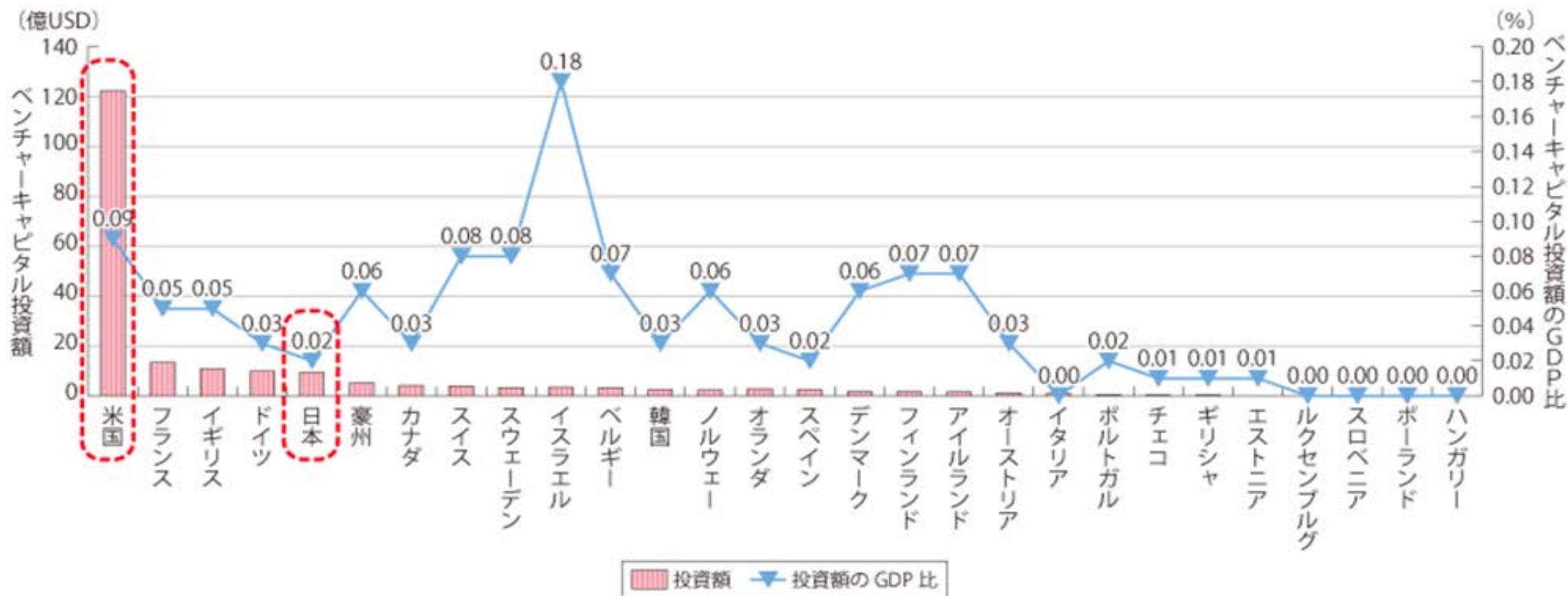
ご清聴ありがとうございました



東京経済大学 石川ゼミ

參考資料

世界各国のベンチャーキャピタル投資額



(出典) 総務省「ICT産業のグローバル戦略等に関する調査研究」(平成25年)
ベンチャーキャピタル投資等動向調査、トムソンロイター資料にて作成